

あいち農産物生産流通レポート

令和元年5月号

	ページ
◎ 地域トピックス ・ 施設園芸支援センターを開校しました ～産地化を目指して～	(豊田加茂農林水産事務所) 1
◎ 東日本情報 ・ ヤフー株式会社が愛知の豚肉を応援	(東京事務所) 2
◎ 西日本情報 ・ 「あいち型産地パワーアップ事業」の創設について	(園芸農産課) 3
◎ フラワーページ ・ 2019日本フラワー&ガーデンショウが開催されました	(東京事務所) 4
◎ 青果 ・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	5
・ 名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し	6
◎ 花き ・ 切り花・鉢花の5月の見通し(県内市場)	18

※今月、「情報サロン」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。
それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】
農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】
全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】
農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】
総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

施設園芸支援センターを開校しました ～産地化を目指して～

豊田加茂農林水産事務所

あいち豊田農業協同組合（以下、「JA」という。）は、施設園芸の産地化を目指して、平成31年4月にみよし施設園芸支援センター（以下、「支援センター」という。）を開校しました。この支援センターでは、園芸作物の栽培技術や経営管理に必要な知識など、2年間のカリキュラムで研修を行い、JA管内での就農を目指す方を支援していきます。

1 支援センター開校の経緯

JAでは、地域農業振興計画において、年間を通じ安定的な生産・出荷を行うことができる施設園芸の普及による農家所得の向上に取り組むこととし、「施設園芸の新規産地化」を目指しています。

その一環として、JA自らが新規就農を支援し施設園芸の担い手を育成・確保していくため、行政等関係機関と連携し、支援センターを開校しました。



みよし施設園芸支援センター

2 支援センターの概要

(1) 名称及び所在地

みよし施設園芸支援センター
(みよし市明知町大塚 132)

(2) 研修施設

ビニルハウス 24a（土耕栽培 20a、
養液栽培 4a）、農産物集出荷場



農産物集出荷場

3 研修生の募集要領 ※本年度の募集は終了しました

(1) 研修条件：農業を職業にする強い意志と意欲がある就農希望者で、研修終了後もJA管内に居住し、就農するもの。

(2) 応募年齢：高等学校を卒業見込みの方から概ね47歳まで。

(3) 研修期間：2年間 原則4月から3月まで

(4) 奨学金：毎月15万円（年間180万円）

(5) 研修作物：ちんげんさい、なす等

(6) 募集人員：2名程度（隔年で募集）

(7) 資格取得：日本農業技術検定など、研修期間中に必要な資格等の取得を行う。



なす養液栽培システム

なお、本年度は、4月16日に支援センターの開校式が行われ、研修生1名が就農を目指して、研修に取り組んでいます。

ヤフー株式会社が愛知の豚肉を応援

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

愛知県では、豚コレラの発生に伴う豚肉に対する風評被害の払拭に取り組んでいます。それに呼応して、東京都千代田区にあるヤフー株式会社（以下、ヤフー）の東京紀尾井町オフィス社内レストラン BASE11 と BASE17 において、愛知県産豚肉応援フェアが開催されました。

1 『食べて応援！愛知豚肉フェア』

ヤフーは、愛知県名古屋市にもオフィスを構えています。その愛知県で豚コレラが発生したことや、大村秀章愛知県知事が豚コレラ発生後に愛知県産豚肉の安全性やおいしさをPRしていたことを受け、風評被害の払拭に協力しようと『食べて応援！愛知豚肉フェア』を開催しました。

社内レストランでは3月26日（火）～27日（水）にかけて、愛知県産豚肉を使用したみそカツやロースハム、ロースのグリルが合計で約1,000食分提供され、多くの社員がこれらの料理を楽しみました。

2 豚肉は安全！社員も気にしていない模様

ヤフーでは、フェアに合わせて社内レストランをはじめ、そこに続くエレベーターや通路にも豚肉の安全性を啓発するポスターが電子掲示されました。26日には当グループの職員も会場に赴き、社員に「豚コレラは人に感染しないこと」、「豚コレラに感染した豚の肉が流通することはないこと」を説明しました。

また、社員の方々に豚コレラについて話を伺ったところ、「豚コレラは気にせず豚肉を買って食べている」という意見が聞かれ、ほっと胸をなでおろしました。

今回のフェアを通して、多くの方に豚コレラに対する正確な知識や愛知県産豚肉の安全性をPRすることができました。今後もこうした取組により、豚コレラに対する懸念が払拭され、愛知県産豚肉が消費されることを期待します。



みそカツに並ぶ社員の列



ロースハムとチラシの掲示



豚肉の安全性を社員にPR

「あいち型産地パワーアップ事業」の創設について

園芸農産課

1 創設の背景

TTP11 協定が平成 30 年 12 月に発効し、農業への影響が懸念される中、本県の農業生産力を強化する取組を速やかに実行する必要があります。

国は「産地パワーアップ事業」等の補助制度を設けていますが、本県には、こうした国の補助制度の採択要件を充足できず事業を活用できない産地があることから、県独自の補助制度を設けることが求められてきました。

こうした中、県独自の補助制度「あいち型産地パワーアップ事業」を創設しました。

2 事業の概要

(1) 取組主体：農業者、農業者の組織する団体等

(2) 対象品目：「産地戦略」を策定した品目(耕種作物)

(3) 主な補助対象

- ・栽培施設（温室、ハウス等）の整備、機能向上を伴う改修
- ・複数年効果を発揮する生産資材（硬質フィルム、防風ネット等）の導入
- ・共同利用施設（乾燥調製施設、集出荷貯蔵施設等）の整備等
- ・高性能な農業機械（トラクター、野菜収穫機等）の導入

(4) 主な要件等

産地の計画	・産地戦略 産地の 10 年後を見通した上で、5 年間の対策を定めた戦略
産地の要件	・面積：露地 3 ha、施設 1 ha ・農業従事者：3 人以上
申請事業費	・取組主体ごとに原則 10 万円以上
補助対象	・取組主体ごとの単年度あたりの補助対象となる事業費の上限は 5,000 万円
目 標	・取組主体の事業単位で生産性 10%以上向上

(5) 事業期間

2018 年度から 2023 年度まで

(6) 補助率

1/3 以内

(7) 予算規模

1 億円 (2019 年度)

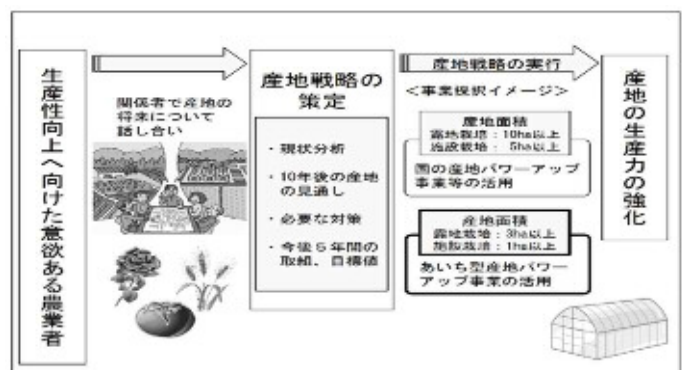


図 事業実施のイメージ

3 事業の効果等

国事業の活用に加え、本事業を実施することで、県内の意欲のある産地において、栽培施設等の整備、既存施設の能力向上を伴う改修等が進み、生産性の向上を図ることが期待されます。

2019 日本フラワー&ガーデンショウが開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成 31 年 4 月 19 日（金）から 21 日（日）にかけて、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で 2019 日本フラワー&ガーデンショウが開催されました。このイベントでは、多くの来場者がセミナーや体験教室に参加する様子が見られましたので、概要をお伝えします。

1 フラワー&ガーデンショウとは

フラワー&ガーデンショウは、公益社団法人日本家庭園芸普及協会が主催し、家庭園芸の普及や拡大を目的として、花と緑に関する展示や商品の販売等を行うイベントです。

会場では、今年度のテーマフラワーであるカーネーションの展示のほか、ガーデニングコンテスト作品や新品種の展示、セミナーの開催等が行われ、多くの来場者でにぎわっていました。



家族連れで満席のワークショップ

2 参加型のコーナーが多数

取材当日の 4 月 20 日は、多くの来場者が数々のセミナーや体験教室に参加していました。ステージイベントでは、種苗会社によるカーネーションの選び方や管理方法についての講演が満席となっていたほか、各資材メーカーのブースでは、寄せ植えワークショップや栽培管理に関するセミナー等が行われ、家族連れや園芸に関心のある人でにぎわっていました。その他にも、子供向けの職業体験コーナーでは生花店、競り人、植木や造園といった仕事に、多くの子供が興味を示し挑戦していました。



バラの管理セミナーも人気



子供の競り体験

フラワー&ガーデンショウでは多くの出展者が参加型のコーナーを設けていましたが、これは自社製品をただ展示するだけよりも PR に適していると思われました。

また、こうしたコーナーの中には子供が参加できるものも多く、それに合わせて子供連れの参加者も多くなっていますが、これにより幅広い客層の集客が可能になっていると思われました。子供たちは楽しそうに行事に参加しており、こうした経験をすることで花や園芸への興味を持ってもらえることが期待されます。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
30年実績	513	488 (95%)	717	714	静岡 (3 %) 福岡 (1 %) 大分 (1 %)
元年見通し	530	—	650	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の海部及び名古屋地域からの入荷が中心となる。4月下旬時点の作況は大豊作といえる状況で、生育が非常に良く、収穫量の多い年となっており、今後も安定した潤沢な入荷が見込まれる。一方、他の品目同様に安値推移していた価格は、入荷量の増加もあり引き続き安値となる見通し。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>生育が非常に良く、病気も少ない一方で、葉色の薄い品物が目立ち、現時点から黄変しやすい入荷物が増えている。各産地で同様の傾向が出ており、栽培や出荷調製での対応が難しいと思われるが、ご留意願いたい。 また、ここ数年の入荷量は下げ止まり傾向にあるが、担い手不足から将来的には大幅な入荷減も予想されるため、今後も安定出荷をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
30年実績	193	22 (11%)	632	1,109	北海道(71%) オーストラリア(9%) ニュージーランド(7%)
元年見通し	190	—	640	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>30年産の入荷量は前年比108%と増加しているが、本県産は同93%（シェア11%）と減少している。 本県産が担う5～8月は主要産地の北海道からの入荷がなく高単価となる。他の競合産地も少なく、年間を通した需要が期待できることから、本県産の出荷期間においては単価は安定している。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>			<p>ペコロスは、業務向けを中心に安定した需要がある。中心産地である北海道の入荷がなくなる5～7月の愛知産に対する期待は大きく、また品質的に評価が高い。 業務向けの手堅い需要がある一方、見た目が映える食材であるため、一般向けの料理提案で更なる需要も期待できる。夏場を担うほぼ唯一の国内産地となっており、単価に見合う安定した入荷が求められる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	26年	34,019	219	223	218	216	愛知 29%
	27年	32,052	269	279	266	263	茨城 10%
	28年	33,981	242	243	233	246	徳島 8%
	29年	35,201	227	235	213	230	長野 7%
	30年	35,247	215	215	207	218	北海道 7%
	5ヵ年平均	34,100	234	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	34,000	220	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に茨城、北海道などから入荷する。4月上旬に低温となったが、各品目とも生育は概ね順調。キャベツやにんじん等が潤沢だった前年に比べて入荷量は減るが、平年並の順調な入荷が予想される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
	だいこん	26年	2,041	84	79	89	93
27年		2,099	103	126	101	90	千葉 15%
28年		1,774	100	97	109	97	鹿児島 4%
29年		1,924	97	106	99	91	青森 2%
30年		1,724	80	67	88	99	香川 1%
5ヵ年平均		1,913	93	96	97	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
元年見通し		1,800	90	80	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、千葉を中心に入荷する。愛知は前進出荷が予想されたが、4月上旬の気温低下で例年に近い動きとなり、今後も順調な入荷を見込む。千葉は平年並の入荷で、中旬には終了する見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん		26年	2,526	118	116	115	123
	27年	2,239	147	131	138	171	岐阜 13%
	28年	2,269	165	202	187	126	兵庫 2%
	29年	2,369	133	141	140	118	
	30年	2,769	117	165	119	89	
	5ヵ年平均	2,435	135	151	138	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,450	120	110	120	130	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	徳島を中心に一部岐阜からも入荷する。暖冬や先行・後続産地の出荷時期の重なりによる数量増から安値が続く。徳島は生育良好で前進しており、切り上がり及早まる予想。岐阜は中旬頃から始まる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

5月7日現在

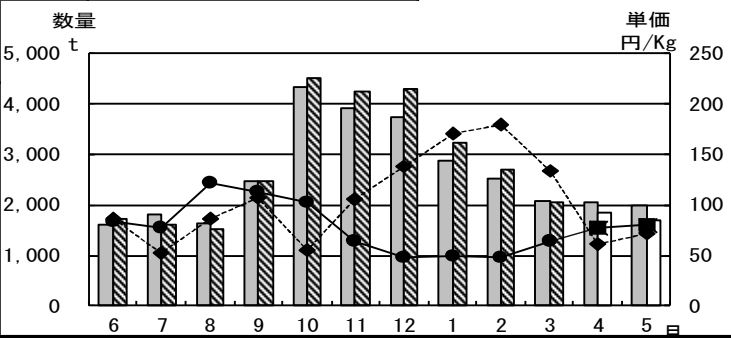
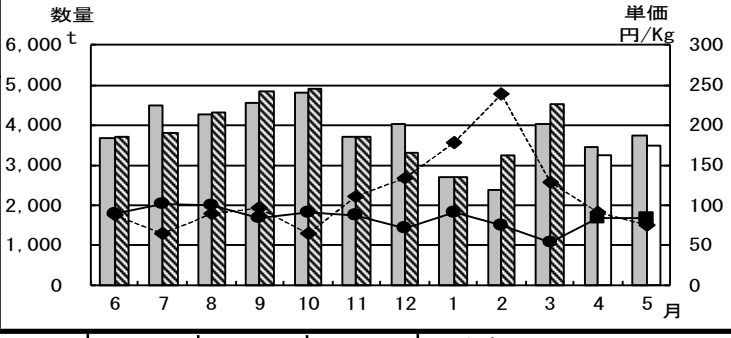
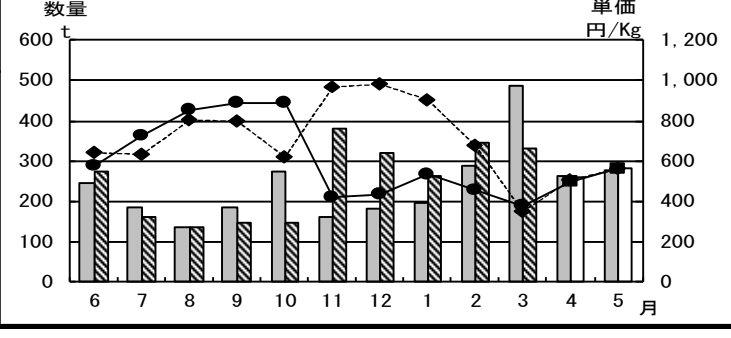
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	26年	138,940	233	234	235	230	千葉 18%	
	27年	129,348	277	291	276	265	茨城 16%	
	28年	134,886	259	260	256	261	佐賀 6%	
	29年	144,436	238	245	234	235	群馬 5%	
	30年	142,138	230	227	234	231	徳島 5%	
	5ヵ年平均	137,950	247	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	140,000	235	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。多くの品目で順調な生育となっている。土物類、果菜類は西南暖地からの入荷が本格化するほか、北関東以北の産地からも入荷が始まる。総じて潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
	だいこん	26年	10,543	77	74	83	76	千葉 76%
27年		10,248	104	136	107	75	茨城 13%	
28年		9,466	96	99	101	88	青森 4%	
29年		10,434	91	107	89	78	栃木 3%	
30年		8,980	85	69	88	101	鹿児島 1%	
5ヵ年平均		9,934	91	98	94	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
元年見通し		9,600	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城からの入荷が中心となる。暖冬から生育進むも、一部産地に少雨による播種作業の遅れがあり、全体的には平年並の入荷となると見込まれる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は安値だった前年をやや上回り平年並となる見込み。</p>						
にんじん		26年	7,961	130	125	124	140	徳島 70%
	27年	7,481	154	138	145	180	千葉 24%	
	28年	8,805	177	207	202	136	中国 1%	
	29年	9,126	141	146	146	131	茨城 1%	
	30年	10,370	132	173	130	97	静岡 1%	
	5ヵ年平均	8,749	146	159	149	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	8,500	120	120	120	120		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島、千葉からの入荷が中心となる。徳島は4月の雨で太りが良く順調な出回りが予想され、千葉も中旬をピークに数量を伸ばす。総じて入荷量は平年並だが、端境がないため価格は厳しい展開となるか。入荷量は前年を大幅に下回り、価格も前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	1,506	61	59	61	67	茨城 72%
	27年	1,640	179	188	199	144	愛知 15%
	28年	1,471	82	90	80	80	長野 11%
	29年	1,572	84	114	70	70	宮崎 1%
	30年	1,980	71	65	82	71	
	5ヵ年平均	1,634	95	103	99	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,700	80	75	80	85	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城を中心に愛知、長野から入荷する。茨城は安定した入荷が続いており、平年並の入荷見込み。愛知も若干遅れ気味だが、順調な入荷を見込む。長野は下旬から始まるが、同じく平年並の入荷となるか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値となった前年をかなり上回る見込み。						
キヤベツ	26年	3,779	86	88	97	78	愛知 70%
	27年	3,311	185	264	216	107	茨城 22%
	28年	3,371	113	123	100	118	神奈川 3%
	29年	3,380	103	130	92	97	宮崎 2%
	30年	3,729	75	80	74	77	兵庫 2%
	5ヵ年平均	3,514	111	134	114	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	3,500	85	85	85	85	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は作柄良好で、潤沢な入荷が続くとみられる。生育状況は若干前進傾向となっており、出荷のピークが例年の5月上旬からGW中に前倒しする可能性もある。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値となった前年をかなり上回る見込み。						
ほうれんそう	26年	232	501	457	572	496	岐阜 66%
	27年	256	551	525	556	548	茨城 20%
	28年	273	578	539	562	611	愛知 10%
	29年	300	515	528	469	573	長野 2%
	30年	277	561	510	579	590	静岡 1%
	5ヵ年平均	267	542	514	545	566	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	280	560	500	550	600	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	岐阜を中心に茨城、愛知から入荷する。岐阜は主産地の飛騨地域の栽培面積が減少傾向にあるが、入荷量は概ね前年並を見込む。愛知は作況に大きな問題はなく、例年どおりの入荷となる見込み。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						

東京都中央卸売市場

5月7日現在

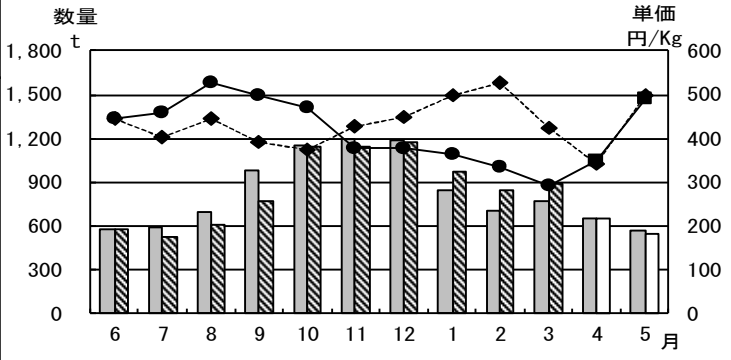
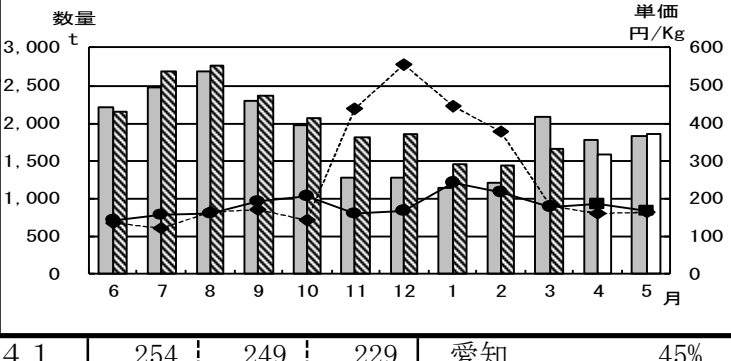
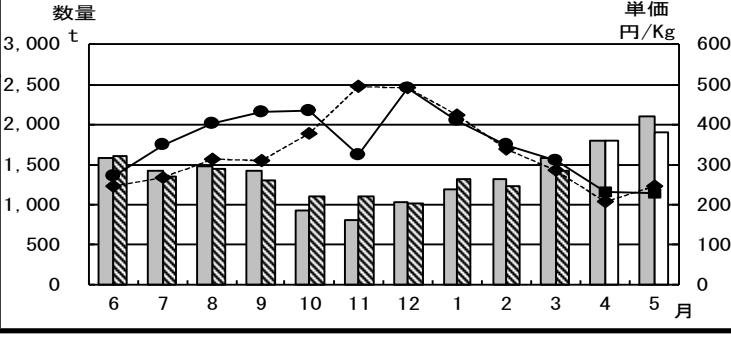
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	26年	5,767	48	49	49	茨城	92%	
	27年	5,041	142	151	173	106	長野	5%
	28年	5,882	60	66	58	57	群馬	2%
	29年	7,005	64	90	60	43		
	30年	6,982	52	46	66	44		
	5ヵ年平均	6,135	70	78	77	57	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	6,800	60	65	60	55		
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城の作付面積はほぼ変わらず生育も順調。入荷が多かった前年に近い数量が見込まれ、価格は前年を上回るものの平年より安値となる見通し。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
キャベツ	26年	17,757	81	79	95	72	千葉	43%
	27年	16,562	149	170	165	112	神奈川	24%
	28年	17,349	100	101	100	98	茨城	17%
	29年	19,052	90	97	87	87	愛知	14%
	30年	19,976	63	60	65	65	東京	1%
	5ヵ年平均	18,139	95	99	100	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	19,000	85	85	85	85		
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>千葉、神奈川、愛知、茨城からの入荷が中心となる。暖冬を背景に各産地とも生育が前進傾向。愛知は終盤に入り数量を減らすも、主力の千葉、茨城からは潤沢な入荷が続く。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ほうれんそう	26年	1,356	458	447	533	414	群馬	42%
	27年	1,456	467	467	466	469	茨城	33%
	28年	1,375	473	456	469	492	埼玉	8%
	29年	1,512	436	459	401	455	岩手	6%
	30年	1,412	446	421	480	442	岐阜	5%
	5ヵ年平均	1,422	456	450	468	455	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	1,400	400	400	400	400		
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>群馬、茨城など関東産地を中心に岩手などからも入荷する。一部産地で乾燥などの影響受けるも、主力の関東産地は順調な生育状況。総じて問題は見られず潤沢な入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	679	416	416	430	大分	24%
	27年	644	514	514	518	愛知	22%
	28年	581	558	558	514	鳥取	12%
	29年	602	449	449	444	茨城	7%
	30年	573	497	497	499	静岡	6%
	5カ年平均	616	485	485	480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	550	490	490	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、大分、鳥取などの各産地から入荷する。普通ねぎは愛知中心。愛知の新ねぎの作柄は問題なく、順調な入荷を見込み、中旬から増量していく。大分、鳥取などが中心となる白ねぎは概ね前年並の入荷となる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。							
し	26年	1,876	161	160	153	長野	65%
	27年	1,937	222	183	227	兵庫	19%
	28年	1,738	189	170	205	茨城	11%
	29年	1,890	161	153	137	愛知	1%
	30年	1,841	166	145	200	山梨	1%
	5カ年平均	1,856	180	162	184	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	1,850	170	160	170		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長野を中心に兵庫、茨城から入荷する。4月の主産地である茨城と兵庫は入荷が前進しており、切り上がりが早まる見通しだが、後続の長野が生育良好で数量も多く、産地の切り替わりはスムーズに進むか。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。							
きゅう	26年	1,845	241	249	229	愛知	45%
	27年	1,903	227	245	225	高知	12%
	28年	1,807	259	255	277	宮崎	12%
	29年	1,928	232	225	227	群馬	12%
	30年	2,102	246	296	249	長野	8%
	5カ年平均	1,917	241	255	241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	1,900	230	230	240		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に群馬、高知などから入荷する。愛知や高知などの冬春作に加え、群馬や長野などの春作が出揃う時期となるが、各産地ともに生育順調で、安定した入荷が予想される。 入荷量と価格はともに前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

5月7日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	4,316	383	371	383	394	茨城 40%
	27年	3,899	511	497	547	486	千葉 24%
	28年	4,024	539	628	523	486	埼玉 13%
	29年	4,230	426	420	435	420	中国 6%
	30年	4,102	461	467	527	404	栃木 4%
	5ヵ年平均	4,114	462	477	483	438	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,400	400	360	420	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。生育は概ね順調だが、産地により作業の進捗状況に差がある。総じて大きな問題とはならないが、今後の天候によっては端境ができる可能性もあるか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
し	26年	8,159	140	143	137	140	長野 46%
	27年	7,531	205	242	169	205	群馬 25%
	28年	8,232	170	184	149	176	茨城 21%
	29年	8,298	142	182	131	119	兵庫 3%
	30年	7,863	152	130	135	191	栃木 1%
	5ヵ年平均	8,017	161	176	144	165	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,500	150	160	150	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長野、群馬からの入荷が中心となる。茨城は終盤となるがまだ数量があり、高冷地の長野、群馬は一部で生育遅れが報告されるも順次増量する見通し。全体的には潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
きゅうり	26年	8,026	265	281	277	241	埼玉 29%
	27年	8,711	227	214	245	221	群馬 25%
	28年	8,998	255	266	249	247	千葉 11%
	29年	9,282	233	243	225	231	茨城 11%
	30年	9,219	258	215	318	258	宮崎 9%
	5ヵ年平均	8,847	247	243	263	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	9,000	250	220	240	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。多くの産地がピークを迎えており、入荷は潤沢となる。後半は東北産地が始まるが、関東が落ち着き品薄感があれば価格を上げると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
な ぎ	26年	1,179	294	294	294	愛知	41%	
	27年	1,098	353	345	351	熊本	34%	
	28年	1,020	370	376	372	宮崎	19%	
	29年	1,115	357	357	351	高知	5%	
	30年	1,050	342	332	347			
	5ヵ年平均	1,092	342	347	343	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	元年見通し	1,060	320	330	320	315		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>愛知、熊本を中心に入荷する。両産地ともに順調で、大きな病害虫の発生もなく、潤沢に入荷量が増加していく見込み。中旬に入荷ピークを迎え、下旬には例年同様に下級品が増えるか。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ト マ ト	26年	1,925	288	311	303	266	熊本	51%
	27年	1,664	354	372	339	350	愛知	24%
	28年	1,881	284	295	273	283	三重	16%
	29年	1,913	254	252	254	258	岐阜	9%
	30年	2,177	235	266	244	202		
	5ヵ年平均	1,912	280	296	280	268	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	2,000	260	250	260	270		
ト マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>熊本、愛知を中心に三重、岐阜から入荷する。4月前半は曇天と冷え込みで入荷量が減少したが、各産地ともに生育良好で、今後は順調な入荷を見込む。やや小玉傾向だが、数量は出てくると思われる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値となった前年をかなり上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	26年	575	558	590	541	540	熊本	49%
	27年	501	627	617	605	659	愛知	37%
	28年	577	565	573	541	573	宮崎	8%
	29年	694	529	499	537	561	和歌山	6%
	30年	777	501	529	500	475		
	5ヵ年平均	625	550	556	540	554	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	700	520	500	520	550		
ミ ニ ト マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。愛知は生育良好で、4月下旬から5月上旬にかけて入荷ピークを迎える。各産地ともに堅調な入荷が続いており、価格も大きな乱高下がなく推移するとみられる。 入荷量は前年をかなり下回るが平年より多く、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

5月7日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	4,438	366	385	380	343	高知 43%
	27年	4,099	396	390	405	394	群馬 17%
	28年	4,106	420	416	428	416	福岡 14%
	29年	4,748	399	435	400	370	熊本 7%
	30年	4,532	399	398	416	388	栃木 5%
	5ヵ年平均	4,385	396	405	406	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,200	400	390	400	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、群馬、栃木などからの入荷が中心となる。高知は天候に恵まれ生育順調で、平年並の入荷見込み。やや遅れ気味の群馬は中旬以降のピークに向け増量中。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は後半に向けて上昇し前年並となる見込み。</p>					
<p>関東産地を中心に熊本、愛知などからの入荷となる。各産地とも好天で生育良好。4月は多くの産地で小玉傾向となったが回復。総体では多かった前年並の入荷が見込まれる。不足感はない。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ト マ ト	26年	10,465	300	326	311	272	熊本 30%
	27年	8,964	357	380	336	356	栃木 23%
	28年	10,443	295	319	279	291	愛知 10%
	29年	10,263	280	278	282	281	千葉 8%
	30年	10,990	270	303	278	234	茨城 7%
	5ヵ年平均	10,225	299	319	296	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	11,000	260	280	260	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知などからの入荷となる。各産地とも好天で生育良好。4月は多くの産地で小玉傾向となったが回復。総体では多かった前年並の入荷が見込まれる。不足感はない。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
<p>熊本、愛知、千葉、宮崎からの入荷が中心となる。主要産地は5月上旬にピークを迎える。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	26年	2,288	523	552	522	499	熊本 41%
	27年	1,917	607	594	580	650	愛知 20%
	28年	2,302	512	519	490	528	宮崎 13%
	29年	2,434	495	447	502	536	千葉 9%
	30年	2,742	470	493	464	452	静岡 6%
	5ヵ年平均	2,337	516	517	507	526	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,600	490	490	490	490	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉、宮崎からの入荷が中心となる。主要産地は5月上旬にピークを迎える。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
<p>熊本、愛知、千葉、宮崎からの入荷が中心となる。主要産地は5月上旬にピークを迎える。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

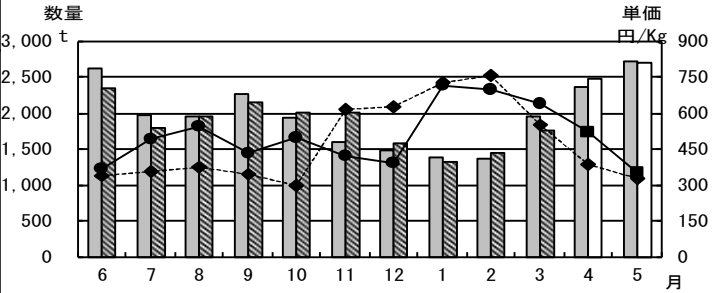
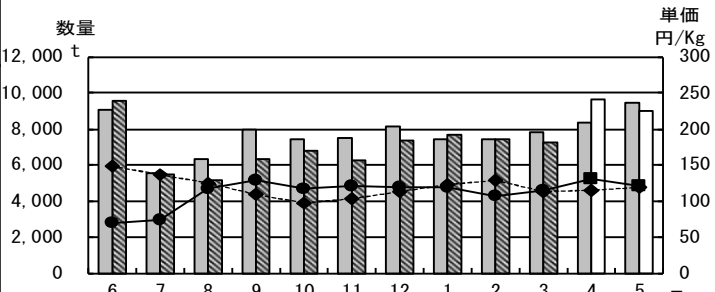
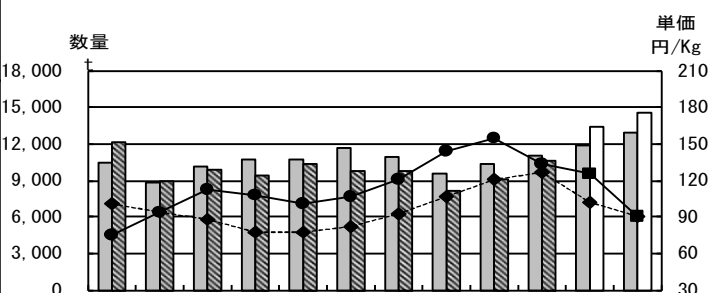
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	860	242	290	250	224	鹿児島 30%
	27年	702	382	592	389	303	宮崎 30%
	28年	740	349	462	351	307	茨城 27%
	29年	926	311	386	311	263	高知 13%
	30年	850	276	326	296	269	
	5ヵ年平均	815	308	402	316	271	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	880	310	380	300	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、鹿児島、高知の西南暖地、茨城を中心に入荷する。宮崎、鹿児島は上中旬まで順調な入荷が続き、下旬以降は減少していく見通し。茨城は順調な入荷を見込み、概ね前年並の入荷量が予想される。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	26年	3,512	126	143	130	122	鹿児島 52%
	27年	3,185	219	232	205	226	長崎 33%
	28年	3,445	205	202	194	217	北海道 10%
	29年	3,401	166	193	162	156	熊本 3%
	30年	2,859	127	147	128	108	静岡 3%
	5ヵ年平均	3,280	169	184	164	167	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	3,000	128	130	130	125	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎、鹿児島を中心に北海道、静岡などから入荷する。長崎と鹿児島はともに豊作傾向。潤沢な入荷が予想され、価格は前年同様に安値となるか。北海道の残量は平年より少ない見通し。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
たまねぎ	26年	4,027	103	109	110	95	愛知 55%
	27年	4,133	117	102	113	145	北海道 35%
	28年	5,731	75	73	66	88	兵庫 7%
	29年	6,404	81	87	72	87	宮崎 1%
	30年	5,465	80	92	74	80	
	5ヵ年平均	5,152	89	91	84	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	5,500	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、北海道を中心に入荷する。愛知の作況は順調で、前年以上の入荷を見込む。北海道の残量は例年より少ないが、これから入荷の中心となる兵庫は生育良好で、今後の入荷増が予想される。</p> <p>入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月7日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	2,836	277	335	260	237	茨城 69%
	27年	2,509	412	577	382	320	宮崎 14%
	28年	2,623	383	461	368	334	高知 11%
	29年	2,881	361	434	348	313	鹿児島 5%
	30年	2,721	328	357	321	307	
	5ヵ年平均	2,714	351	430	334	301	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,700	350	380	340	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城を中心に高知、宮崎、鹿児島から入荷する。茨城は低温の影響で遅れがみられるも回復の兆し。西南暖地も天候の回復に伴い増量傾向。一部産地では病害虫の発生がみられ、留意が必要か。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
ばれいしょ	26年	10,388	133	138	129	132	鹿児島 46%
	27年	8,925	216	205	204	239	長崎 34%
	28年	9,131	211	201	204	226	北海道 11%
	29年	10,757	165	182	160	155	熊本 4%
	30年	9,465	118	130	123	104	静岡 3%
	5ヵ年平均	9,733	167	170	163	169	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	9,000	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>鹿児島、長崎からの入荷が中心となる。上旬の大型連休で輸送面からの混乱が懸念されるも、九州産地の前進化や大玉傾向により際立った不足感はない。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
たまねぎ	26年	13,029	127	129	129	123	佐賀 62%
	27年	12,350	128	121	123	139	北海道 23%
	28年	11,608	92	118	83	77	兵庫 4%
	29年	14,172	104	103	103	107	千葉 2%
	30年	12,933	90	93	92	86	中国 2%
	5ヵ年平均	12,818	108	112	106	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	14,500	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>佐賀、北海道からの入荷が中心となる。主力の佐賀は前年同様に豊作基調。肥大良好で2L寄りのL玉中心の入荷が見込まれる。北海道も潤沢な入荷となり、軟調な相場となるか。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	26年	8,285	382	399	374	381	熊本 32%
	27年	7,141	419	423	416	419	フィリピン 21%
	28年	6,951	419	433	429	403	青森 12%
	29年	7,203	409	427	405	415	愛知 10%
	30年	7,100	417	442	429	405	ニュージーランド 7%
	5ヵ年平均	7,336	408	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,300	380	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
メロン、いちご、すいかなどが主な品目となる。メロン、すいかのほか今後出荷が本格化する品目は生育順調なものが多い。終盤となるいちごは例年同様に緩やかな入荷となり、切り上がりは若干早いか。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
その 他 メ ロ ン (ア ー ル ス メ ロ ン 以 外)	26年	1,076	387	448	365	373	熊本 77%
	27年	818	455	482	471	429	メキシコ 8%
	28年	953	419	491	423	377	愛知 8%
	29年	758	448	487	453	436	茨城 3%
	30年	837	435	529	450	378	鹿児島 3%
	5ヵ年平均	888	426	485	428	396	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	830	430	500	440	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本を中心にメキシコ、愛知などから入荷する。面積減により過去に比べ入荷量が減少しているが、中心となるアンデス、クインシーは概ね例年どおりの作柄で、前年に近い入荷量と価格が予想される。愛知のメロン類も前年並の入荷見込み。入荷量と価格はともに前年並の見込み。							
す い か	26年	1,742	249	264	254	237	熊本 82%
	27年	1,424	290	296	294	285	愛知 14%
	28年	1,496	278	301	295	256	和歌山 2%
	29年	1,390	299	319	307	281	沖縄 1%
	30年	1,576	272	323	289	234	
	5ヵ年平均	1,526	276	299	286	257	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,500	280	320	280	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本を中心に愛知からも入荷する。面積は前年に続き微減しているが、生育は良好で若干前倒し傾向。熊本、愛知ともに順調な入荷が予想されるが、前倒し傾向のため後半の入荷量は減少するか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

4月30日 現在

単位：入荷量=トン、卸売価格=円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	29,586	398	412	394	388	熊本 27%
	27年	26,394	439	460	429	432	青森 13%
	28年	26,086	444	471	443	460	茨城 12%
	29年	28,729	418	438	418	399	フィリピン 9%
	30年	27,416	447	481	443	420	愛媛 6%
	5カ年平均 元年見通し	27,642 27,000	428 430	— —	— —	— —	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心に、ハウス物が入荷する。ハウスみかんは各産地順調で入荷量は前年を上回る見込み。アールスメロンは静岡が前年の台風による施設被害等の影響で、他産地も作付減で入荷減となる見込み。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	26年	3,487	443	494	463	406	茨城 68%
	27年	2,709	528	619	550	467	熊本 26%
	28年	3,233	477	546	495	428	メキシコ 3%
	29年	2,868	500	539	534	479	長崎 1%
	30年	3,314	458	562	479	413	千葉 1%
	5カ年平均 元年見通し	3,122 3,310	478 480	565 520	512 480	445 440	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城、熊本を中心に、品種はアンデスやクインシーなどが入荷する。茨城及び熊本ともに各品種の生育は順調で、玉肥大もよい。また、タカミメロンは中旬以降にピークを見込む。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。						
す	26年	6,421	258	266	265	249	熊本 67%
	27年	5,954	300	305	300	296	千葉 18%
	28年	6,900	288	312	298	267	茨城 11%
	29年	6,272	297	313	305	284	群馬 3%
	30年	7,402	287	327	298	248	和歌山 1%
	5カ年平均 元年見通し	6,590 6,600	286 280	305 300	293 280	268 260	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本を中心に千葉、茨城などからも入荷する。大玉すいかは主力の熊本が生育順調で、千葉は若干面積を減らす。小玉すいかは茨城が上旬からピーク、熊本はダラダラとした入荷となる見込み。 入荷量は前年をかなり下回るも平年並、価格は前年をわずかに下回る見込み。						

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	26年	1,693	39	
		27年	1,739	53	
		28年	1,777	51	
		29年	1,753	43	
		30年	1,724	32	
	5ヶ年平均	1,737	43		
元年見通し	1,730	35			
概要	愛知、三重、沖縄などから入荷する。平年並の入荷で、夏菊の出荷も始まる。業務需要の動きによる相場展開で、一般需要は鈍い。				
小 ぎ	実績	26年	1,160	22	
		27年	1,374	27	
		28年	1,128	30	
		29年	1,080	30	
		30年	978	22	
	5ヶ年平均	1,144	26		
元年見通し	1,050	26			
概要	沖縄を中心に夏品種が始まり、愛知の地場の出荷も増えてくる。平年並か、やや少なめに推移し、保合の展開となる見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	26年	1,816	37	
		27年	1,864	37	
		28年	1,651	42	
		29年	1,888	46	
		30年	1,610	43	
	5ヶ年平均	1,766	41		
元年見通し	1,600	43			
概要	愛知、長野、和歌山から入荷する。今年は年初から暖冬のため、ダラダラとした出荷でピークは3月中旬から4月上旬に来ており、5月は比較的少なく、切上りも早い。母の日は安定した単価で動くと思われる。				
か す み	実績	26年	258	59	
		27年	247	74	
		28年	245	64	
		29年	241	68	
		30年	220	64	
	5ヶ年平均	242	66		
元年見通し	230	65			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。前進出荷しており、母の日は例年より少ない予想。ピークは5月1週目になる見込みで連休中の販売となり、相場が辛い可能性もある。中旬以降はかなり量が減少し、高冷地の出荷は例年通りと考えるとかなり少ない時期もある。急な気温上昇の際には品質に注意をお願いしたい。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	26年	341	140	
		27年	344	143	
		28年	348	142	
		29年	342	158	
		30年	283	143	
	5ヶ年平均	332	145		
元年見通し	300	140			
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、新潟などから入荷する。高冷地の出荷も増加し、上旬より数量が増えてくる見通し。LAも遅れ気味のものが一気に出て、量が多い。鉄砲は生産減でやや少ない。全体的にゆりは厳しい販売となる見込み。</p>				
洋らん	実績	26年	374	85	
		27年	368	92	
		28年	387	90	
		29年	417	77	
		30年	329	80	
	5ヶ年平均	375	84		
元年見通し	350	80			
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、徳島、輸入物等が入荷する。シンビジウムは国産物が徐々に減少し、ニュージーランド産が入荷してくる。輸入物のデンファレはやや減少し、落ち着いた入荷となる。</p>				
ばら	実績	26年	1,000	69	
		27年	969	71	
		28年	908	71	
		29年	918	74	
		30年	990	72	
	5ヶ年平均	957	72		
元年見通し	960	72			
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。高冷地の出荷も徐々に始まり、産地が出揃う。4月前半に出荷の山があったため、母の日需要に間に合うか品種により多少不安が残るが、おおよそ安定供給に向かう見込みである。</p>				
枝もの	実績	26年	1,546	44	
		27年	1,513	47	
		28年	1,373	48	
		29年	1,618	48	
		30年	1,309	47	
	5ヶ年平均	1,472	47		
元年見通し	1,400	47			
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。長期の連休で、稽古花材の引合いは軟調。一部のアレンジ花材は堅調な動き。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	26年	50,238	505	
		27年	26,975	547	
		28年	18,967	602	
		29年	34,378	489	
		30年	18,365	596	
	5ヶ年平均		29,785	533	
	元年見通し		18,000	590	
概要	<p>入荷量は前年並か。5号鉢を中心に母の日需要が高まる5月2週目が入荷ピークだが、注文中心の入荷となるため、競売品は品薄になる見込み。相場は作付量の減少と競売品の減少に伴い、安定する予想。大輪の黄色・ピンクの引き合いが変わらず強い。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野(42.2%)、2位埼玉(29.7%)、3位愛知(6.9%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	26年	38,310	2,643	
		27年	42,717	2,577	
		28年	41,268	2,742	
		29年	64,213	2,280	
		30年	49,222	2,330	
	5ヶ年平均		47,146	2,484	
	元年見通し		48,000	2,300	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少するか。ミディータイプの単価も年々伸び悩み、生産量は減少。売れる時期は5月1週目から2週目の連休中だと思われる。中下旬は需要が減り相場も厳しい予想のため、中下旬の相場を安定させるよう、前倒し出荷をお願いしたい。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48.7%)、2位熊本(11.7%)、3位静岡(10.3%)となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	26年	99,324	388	
		27年	83,294	418	
		28年	85,276	342	
		29年	104,123	338	
		30年	78,433	324	
	5ヶ年平均		90,090	362	
	元年見通し		78,000	320	
概要	<p>入荷量は前年並か。需要期は4月末から5月上旬がピークで、ゴールデンウィーク中の出荷をお願いしたい。中旬以降は需要が落ち込むため、品質と咲き前に配慮した荷姿での出荷を希望したい。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(51.0%)、2位愛知(36.9%)、3位愛媛(3.9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ シ ア	実 績	26年	299,800	747	
		27年	230,997	689	
		28年	229,714	753	
		29年	353,921	890	
		30年	284,993	921	
	5ヶ年平均		279,885	810	
	元年見通し		280,000	850	
概要	<p>入荷量は前年並か。暦上の母の日は前年と同じ時期だが、これまでの天候で生育が早まり、5月上旬の入荷予定が4月に前進する商品もある。5号鉢中心の取扱いでバイカラー系と額アジサイの八重系の引合いは強い。多品種小ロット生産が多く、近年小鉢の生産も増えてきている。相場は前年より厳しいか。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(44.6%)、2位群馬(16.9%)、3位その他(7.0%)となっている。</p>				
スパ ティ フィ ラム	実 績	26年	38,270	263	
		27年	21,873	278	
		28年	18,041	313	
		29年	24,505	254	
		30年	17,894	296	
	5ヶ年平均		24,117	276	
	元年見通し		15,000	280	
概要	<p>年々生産量が減っており、入荷量は前年より大幅に減少するか。相場は前年並に推移する見込みだが、競売単価が上昇するかがカギとなる。母の日までは3号鉢メインでの出荷で、母の日以降は4号鉢以上のサイズが増加してくると思われる。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(50.1%)、2位愛知(29.3%)、3位岐阜(15.3%)となっている。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	26年	377,053	402	
		27年	347,103	421	
		28年	296,483	466	
		29年	472,208	474	
		30年	377,299	493	
	5ヶ年平均		374,029	452	
	元年見通し		376,000	480	
概要	<p>入荷量は前年並か。相場は苦戦が予想される。今年はゴールデンウィークの10連休で長い販売期間が予想されるので、毎回の出荷時の花は固めではなくベストの状態をお願いしたい。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(43.0%)、2位群馬(17.5%)、3位福島(4.8%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.551
令和元年5月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434